

生産方式革新実施計画の概要【株式会社 結米屋】

2026年
9月17日認定

活用するスマート農業技術

自動運転田植機

新たな生産の方式

ほ場の大区画化、均平化

水稲において、畦畔除去によるほ場の大区画化とともに均平化を行うことにより、自動運転田植機の作業効率を上げ、労働生産性の向上を図る。

<申請者>

株式会社 結米屋（山形県東田川郡庄内町）
経営概況（2026年8月時点）
経営規模：水稲 66.1 ha、大豆2.1ha 他
従業員数：5名

<対象品目>

水稲

<計画の実施期間>

5年間

<活用予定の支援措置>

補助事業の優遇措置

<生産方式革新事業活動のイメージ 等>



株式会社結米屋の皆様



自動運転田植機

～認定を受けて一言～

株式会社結米屋は、担い手や後継者が農業しやすい営農体制づくりを目指しています。

今後の経営規模拡大も見据え、スマート農業技術の導入により、効率的かつ効果的に持続可能な農業に取り組んでまいります。

そして、これからも、お米を通じて、人と人、都市と地方、伝統と未来をつなぎ、庄内の農業発展に貢献してまいります。